

注目議案

令和7年度 一般会計 198億3000万円

**◆コロナ交付金が終わり
3年ぶりに200億円を下回る**

●一般質問

8人の議員が登壇

●委員会レポート

総務教育委員協議会

みんなが喜ぶ緑地運動公園構想を協議 他

福祉産業建設委員協議会

保育所等および放課後児童クラブは全員受け入れ可能

第7次総合計画特別委員協議会

第7次幸田町総合計画住民意見を取り入れ策定へ

DX推進特別委員協議会

町民の暮らしのためのデジタル化を



幸田町議会HP

● **追跡** あの一般質問はどうなったの？

● あい・らぶ・マイタウン

表紙写真：北村 守さん（六栗）



陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう

六栗西山の森を整備する中学生

りに200億円を下回る

前年度比4.2%減

わたしたちのお金はどう使われるの？



歳入

貯金が減ったなあ



UP!!

DOWN!!

要となる町税(過去最高)

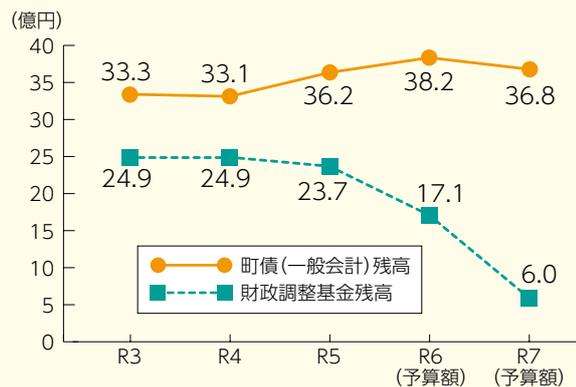
93億7040万円 (前年度比5.9%増)

法人町民税増、固定資産税増によるもの

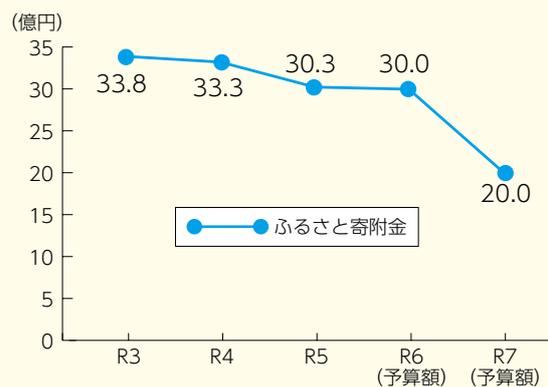
ふるさと寄附金

20億円 (前年度比33.3%減)

■基金(貯金)残高・町債(借金)残高の推移



■ふるさと寄附金の推移



→4ページ参照

■予算特別委員会での各会計別の当初予算と採決状況

会計区分		予算額	前年度比(%)	採決の状況(1人欠席)
一般会計		198億3000万円	▲4.2	反対1：賛成12で可決
特別会計	土地取得	4億264万円	189.9	全員賛成で可決
	国民健康保険	32億8453万円	0.9	反対1：賛成12で可決
	後期高齢者医療	6億9149万円	2.2	反対1：賛成12で可決
	介護保険	26億4821万円	3.5	反対1：賛成12で可決
水道事業会計	収益的支出	8億5357万円	2.9	全員賛成で可決
	資本的支出	4億4495万円	▲25.0	
下水道事業会計	収益的支出	14億2329万円	▲13.1	全員賛成で可決
	資本的支出	7億5102万円	2.7	
合計		303億2970万円	▲2.6	

※予算特別委員会は議長を除く15人で構成され、委員長は賛否に加わることができません。(賛否同数の場合は除く)

コロナ交付金が終わり 3年ぶ 198億3000万円



歳出

安心して子どもを育てられる



- 第2子 3歳未満児は保育料無料!!

678万円

- 3~5歳児の在宅子育てを応援!!

59万4000円



お年寄りまでみんなが元気

- 高齢者生きがいセンターの引っ越しなど
(高齢者生きがいセンター運営事業)

3億5311万6000円

→5ページ参照

住民への気配り予算実行を

黒木 一議員

令和7年度一般会計予算は、200億円を下回る予算。幸田狹谷土地区画整理事業や、坂崎地区の福祉ゾーンの開発など、非常に町民目線で組み立てられており、賛成する。

幅広い世代にわたる福祉事業を

廣野 房男議員

令和7年度当初予算では、福祉事業に手厚く配分され、乳幼児から高齢者まで将来を見据えた事業も盛り込まれ、安心して幸田で暮らせる基盤造りを、更に進めていって欲しい。

将来を見据えて考えた事業推進を

長谷川 進議員

令和7年度一般会計予算が減少する中で、先人たちが編み出した企業立地推進事業と、寄附金を利用した、ふるさと納税推進事業で、町税増収の基本しくみを守り、新事業推進に期待する。

賛成

反対

討論

大型事業など見直し町民福祉の増進を

丸山千代子議員

町税収は過去最大を見込むが、ふるさと寄附金の落ち込み、要望一律10%カット、財政調整基金で穴埋めは財政破綻が危惧される。大型事業や不要不急は見直し、町民福祉増進を第一に。



と注目事業

予算特別委員会は、行政から議員に提出された当初予算議案を、2日間にわたり審議した。気になる審議内容を、周知したく掲載する。

令和7年度 当初予算概要

令和7年度予算 町税 93億7040万円
 令和6年度予算 町税 88億5050万円
 ※前年度比 5.9%増

問 令和7年度は過去最高5億1990万円増額予算が組めた理由は何か。

答 町民税の定額減税が大きいの。土地家屋の増加も増収要因。

問 今後の財源確保は、住宅・企業誘致を進めるべきで、令和8年に向けての考えは。

答 町税を増やす住宅・企業誘致を進め

る。

問 毎年上振れし、1億から1億5000万円増額するが、どの様な考えか。

答 給与所得増加による個人町民税と法人町民税の増額で上振れもある。

問 令和7年度は、事業仕分けを考えていく時で、令和8年度の財源確保はどうする。

答 町の特色を活かす財源確保を進める。



幸田荻谷土地区画整理事業予定地



概要図

農業用水漏水事故 復旧事業

矢作川総合南部地区土地改良施設突発事故復旧事業

総事業費 5億4144万円
 負担率 ・国=66.6%
 ・県=30.0%
 ・市町=3.4% ⇨ (西尾市=30.595%)
 (幸田町=69.405%)

※事業終了後の令和8年度支払い

問 過去の漏水事故について確認する。

答 直近10年間で18カ所・今年度は6カ所の漏水が発生している。



心配する住民

問 最近多くの漏水が発生している。原因は何か。

答 昭和45年～63年に設置し、40年から50年経過しているものが漏水している。埋設管の老朽化が原因と考える。

問 本町の漏水対策はどのような状況か。

答 緊急改修が必要な区間1.54kmにおいて、突発事故が予測され今年度500mを5.4億円の国の補助により工事完了予定。来年度1kmを工事予定。(事故現場左写真参照)



令和7年度に向けての 基金残高(町の貯金)

問 令和6年度基金残高のうち一般会計の残高は出ているが、各基金の残高は出ているのか。

答 令和6年度各基金残高は左記参照。

・財政調整基金	17.1億円	(特別会計)	
・教育施設整備基金	4.9億円	・土地開発基金	2.5億円
・福祉施設整備基金	0.5億円	・国民健康保険財政調整基金	3.1億円
・都市施設整備基金	2.2億円	・介護給付費準備基金	0.5億円

令和7年3月12,13日開催

令和7年度

予算特別委員会

予算審議

当初予算議案審議で、主な注目事業を中心に質疑提案を行った。

企業立地推進事業

長嶺東山地区工業団地開発	2766万円
企業立地促進基金積立金	3030万円

問 開発に対し、地権者全員の同意が有り進めるべきであるが得られたか。

答 地権者との協議を実施し、全員の開発同意を得て企業庁へ提出した。

長嶺東山地区は企業庁の開発検討地区の一つに挙げられた。

問 令和7年度予算に計上するものは、何をしていくのか。

答 長嶺東山地区道路改良詳細設計等業務として計上している。地区設計も進めていく。



長嶺東山地区工業団地予定地

ふるさと納税推進事業

ふるさと寄附業務	10億円
幸田の魅力発信事業	1億789万円

問 予算が非常に多額であるが、事業詳細を確認する。

答 特産品・ちらし・オリジナルタオル・アイボイイベント・補助金に充当する。

若い世代に合った業者に委託する。

高齢者生きがいセンター運営事業

倉庫改修費用	1億5959万円
土地購入費用	1億8860万円

問 倉庫の改修に多額の予算を使う。将来倉庫を壊し、新施設建設するのはムダでは。

答 最終的施設建設は中長期的な事業で、借地施設を早期に返却移転をする必要があるから実施する。



新高齢者生きがいセンター (イメージ)

公園一般事業

遊具設置等改修工事費	4700万円
------------	--------

問 インクルーシブ遊具など設置状況は。

答 令和6年度末に工事完了し、令和7年4月1日より使用可能となる。



幸田中央公園東側設置遊具

配水管布設事業

野場須美地区	4500万円
市場逆川地区	6000万円

問 令和11年度までの工事計画とあるが、物理的に無理でどこまでかかるのか。

答 10000mあたり1億円と多額の予算を要するため、計画的に実施。

問 事故発生時の、配水管修理予算は、どこから捻出するのか。

答 修繕費から充当し、漏水に対応する。

問 修繕費は何も発生しなければ予算は余るのか。

答 余ることもあるが、小さな漏水も発生するため、充当する。

3月議会のあらまし

2月28日～3月26日

議案

全議案承認・可決・採択

- 人事案件 委員の選任1件 幸田町教育委員の任命
・浅井 幸子氏（坂崎） 任期：令和7年4月1日から4年間
- 条例の制定 六栗環境広場設置及び管理に関する条例 ⇨ 下記参照
- 条例の制定 幸田町若者奨学基金条例 ⇨ 7ページ参照
- 条例の一部改正について16件 幸田町職員の給与に関する条例など
- 町道路線の認定および廃止について
- 補正予算関係4件 令和6年度幸田町一般会計補正予算（第7号）など ⇨ 7ページ参照
- 当初予算関係7件 令和7年度幸田町一般会計予算など
- 陳情 1件を審議し採択とした

◆最終日追加議案◆

- 議員提出議案2件 刑事訴訟法における再審に関する規定の改正を求める意見書の提出について 他1件
- 条例の一部改正について1件 幸田町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 補正予算関係1件 令和6年度幸田町一般会計補正予算（第8号）

一般質問

8人の議員が町政全般にわたる課題をただした ⇨ 10～13ページ参照



六栗環境広場使用開始します

幸田町一般廃棄物
最終処分場敷地内

「幸田町六栗環境広場設置及び管理に関する条例の制定」



主な条文

（設置）第2条

休憩、鑑賞、散歩、遊戯、運動等の多目的利用を行う。

（利用の許可）第4条

専用利用する者は町長の許可を受けなければならない。（令和7年4月1日施行）

町長施政方針

町長 成瀬 敦

現在の国内の経済状態は、33年ぶりの高い水準となった賃上げを実現し、「賃上げと投資がけん引する成長型経済」への移行ができるかの分岐点にある、という状態です。

幸田町においても雇用や所得環境が改善し、景気は緩やかに回復が続いている状況ではありますが、町税の収入は過去最高となる見込みながらも、ふるさと納税額の減少、扶助費等の社会保障費や人件費の増加、また建設物価、生活関連物価の高騰等により、今までにない厳しい財政状況におかれています。

今、幸田町にできることは、町民の方々への絶え間ないサービスを保ちながら、活力あるまちの継続を目指し、高度な緊張感をもって財政運営にあたっていくことであります。

令和7年度当初予算は、「もっと輝く幸田を、みんなで」をテーマに掲げて、各種事業を展開してまいります。



海外留学、大学入学をめざす 若者を応援します

第4号議案

幸田町若者奨学基金条例の制定

制定理由

海外留学、大学入学、在学する若者の学問を奨励する経費の財源を確保する。

制定の背景

経済的理由による大学進学や、海外留学を断念する事のないよう、若者の学問を奨励する、給付型奨学基金である。

基金の財源は、幸田町の若者の学門を奨励することを意図とした寄附申出による。
寄附金が無くなれば消滅する。

問 海外留学に行く場合、一人当たりの費用はいくら位か。

答 400万円程度と考えている。



問 家庭の所得制限などは影響するののか。

答 寄附者の意向もあり、相談する必要がある。

問 選考方法は。

答 選考委員会の設立を考えている。選考基準は今後検討する。

一般会計補正予算(第7号)
5億8735万円 減額



歳入(主なもの)

・総務管理費寄附金

3160万円

寄附金の内訳

幸田町若者奨学基金

3000万円

70周年記念事業寄附金

160万円

・二酸化炭素排出抑制対策

事業費等補助金

575万8000円

歳出(主なもの)

・ふるさと寄附業務委託料

▲2億2500万円

・保育所等給食費軽減対策支援金

417万5000円



エアコン設置された中学校体育館

令和7年度内に

幸田町6小学校体育館

空調設備設置工事決まる

一般会計補正予算(第8号)
7億390万3000円 追加



歳入(主なもの)

・学校施設環境改善交付金

1億7180万9000円

・小学校体育館空調整備事業
(国庫交付金)

4億2710万円

歳出(主なもの)

・小学校管理一般事業

体育館空調設備設置工事など

6億6750万円

一般質問

8議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



：議会傍聴記：

身近に感じた議会
と町の未来



いしぐる ふくぞう
石黒 福蔵さん

「議会や町政は難しくて遠い存在」と思っていました。実際には交通対策や教育、地域活性化など生活に密接に関係する問題が議論されており、身近なものだと感じました。

議会では町民の声をもとした質問が多く、皆さんの意見を大切に、町の未来を真剣に考え、議論を重ねている様子が伝わってきました。

議会傍聴を通じて町民の声がどのように反映されているかを知り、一人ひとりの声が、より良い町づくりの第一歩繋がっていると感じました。

これからも、みんなでつくる元気な幸田町を楽しみにしています。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像



過去の議事録

一般質問事項

質問者	質問	回答	頁
廣野 房男	1 森林空間を使ってどんなまちに 2 森林環境贈与税の使い方は 3 森林管理意向調査の結果町はどうするか	1 「緑住文化都市」実現し魅力向上 2 森林サービス産業基本計画などに充てる 3 管理権を取得して森林組合などに相談	10
岩本 知帆	1 終活支援の充実とわかりやすい周知を 2 必要な支援が迅速に提供される体制を 3 社会的孤立防止に向けた取り組みを	1 啓発と効果的な周知方法を検討する 2 利用しやすさを意識した体制を協議する 3 関わりが難しいケース対応を検討必要	
野坂 純子	1 アピアランスケアにエピテーゼも対象に 2 授乳室に「搾乳」マークの明示追加を	1 他市町の状況を調査し検討していきたい 2 公共施設に協力と周知を呼びかけていく	11
長谷川 進	1 地球温暖化への対応は 2 元気な高齢化社会に向けた施策は	1 温室効果ガス排出量削減を目指す 2 高齢者に効果的な取り組みを考えていく	
田境 毅	1 河川愛護活動の整理を 2 危険な交差点は企業と対策を	1 草焼きに替わる良い方法を模索 2 企業の意見いただき対策進めたい	12
都築 幸夫	1 南海トラフ巨大地震の本町の備えは	1 町として独自の力をもってでも備える	13
丸山千代子	1 新事業で財政破綻する事態が危惧される 2 5歳児健診の実施を 3 障がい者コミュニケーション条例制定を	1 適正な財政運営に努める 2 関係機関と協議を重ね研究したい 3 機運が醸成したら検討	
藤本 和美	1 香害の周知や啓発方法は 2 牛乳が体質に合わない子どもへの対応は	1 ホームページや学校の会議などで周知 2 牛乳分の給食費減額とデザート代替制度	

一般質問ページをリニューアルしました！

議会映像を見てみよう！

(YouTubeとは契約関係にないため、配信映像が正常に視聴できないことがあります。)

YouTubeでの検索



YouTubeの検索で
『幸田町議会』と検索

幸田町議会



または

QRでの検索



カメラで
QRコードを読み取る





映像



森林空間を使ってどんなまちに

「緑住文化都市」実現し魅力向上



ひろの ふうお 議員
廣野 房男



里山で遊ぶ保育園児

問 令和6年5月、幸田町は「SDGs未来都市」に選定された。森林サービス産業の推進等に弾みがあった。

答 森林空間を使って未来につながるまち幸田の具体的構想は。環境経済部長▼里

「緑住文化都市」を実現し、まちの魅力と地域の活力を向上させる。

問 町村では初の「SDGs未来都市」選定である。森林空間で未来につながる幸田を達成し、持続させるための考えと覚悟のほどは。

答 町長▼他市町の具体的実践しているところを学び、森林サービス産業を中心とした施策を展開する。



映像



終活支援の充実とわかりやすい周知を

啓発と効果的な周知方法を検討する



いわもと ちほ 議員
岩本 知帆

問 人生100年時代を迎え、人生の最終段階を自分らしく最期の準備である終活の重要性が高まっている。町の支援を問う。

答 町の終活支援の現状は。健康福祉部長▼平

成30年に作成したエンディングノートを昨年11月に更新。今年の1月に終活セミナー及び相談会を開催した。

問 身寄りがなく高齢者への終活支援は。施設入所時の身元引受人や遺品の整理など様々な課題が考

えられるため、元気なうちに地域包括支援センターに相談やエンディングノートの作成、終活セミナーへ参加など、独居高齢者の増加に伴う事業実施を考えていきたい。

問 終活支援のさらなる充実と効果的な周知を。エンディングノ

答 トの活用は、終活を考えるきっかけになる。福祉課及び地域包括支援センターの活動で配付・啓発し、効果的な周知方法を関係機関と検討していきたい。



エンディングノート



野坂 純子 議員

アピランスケアにエピテーゼも対象に



映像



他市町の状況を調査し検討していきたい

問 アピランスケア（医療用ウィッグ、乳房補整具）にエピテーゼも補助対象に。

答 他市町の状況等も調査し検討したい。

問 本町の現状（アピランスケア）は、健康保健担当参事

答 令和6年度は医療用ウィッグ19件、胸部補正具3件、合計22件、補助対象経費の半額（上限2万円）。

福祉施策（がん支援）の充実について伺う。がんや顔や身体の一部を失った場合、エピテーゼ（人工の耳、目、鼻、頬、指など）によって生活や外見の自信を取り戻すことができるが、保険適用外である。そこで伺う。



授乳室に「搾乳できます。」を明示

問 町内公共施設における授乳室に「搾乳」マークの明示を。

答 健康保健担当参事

問 町内公共施設における授乳室に「搾乳」マークの明示を。

答 町民会館など8カ所の施設に協力と周知を呼びかけていく。

育児と仕事の両立を目指す母親が増える中、授乳や搾乳が必要だが、公共施設に協力と周知を呼びかけていく。

授乳室に「搾乳」マークの明示追加を



長谷川 進 議員

地球温暖化への対応は



映像



温室効果ガス排出量削減を目指す



バイオマス農業

答 行政単独での取り組みには限界があり、ノウハウを持った民間事業者と事業を共に推進していく。

問 SDGsの取り組みは、できること・できないことが有り、企業と共同で取り組む考えはあるか。

答 環境経済部長

問 国の温室効果ガス46%削減に準じて実施するの。

内閣府から、SDGs未来都市に選定された。町の地球温暖化施策を問う。



バイオマス事業（循環型農業サイクル）

答 バイオマス資源を研究している民間の技術や取り組みが、好循環形成を資する取り組みであれば、行政との協働も可能と考える。

問 近隣企業は生活の中から出るバイオマス（廃却資源）を活用し、熱・電気を生み出す事業や、農作物の成長を促す肥料開発に取り組み、成果を確認。町内から排出されたバイオマスを、有効利用する町としての考えは。



映像



河川愛護活動の整理を



たきょう つよし 議員
田境 毅

草焼きに替わる良い方法を模索

河川愛護活動の在り方を見直し、町の魅力を高める活動に。

問 草焼きの目的は。

答 建設部長▼害虫駆除や外来植物の除去をし、堤防の弱体化防止など。

問 活動の目的を達成できる代替案を。

答 草焼きに替わる良い方法が見つからない。町が業者発注する法面の草刈り工事と、親切作業班による堤防天端付近の草刈り対応になる。

問 河川愛護活動の整理が必要だ。煙や臭いが発生する観点で、特例で認められた野焼きも注意が必要。計画立案と周知を。

答 環境経済部長▼市街化区域では煙や火災のリスクがある一



多くの煙が広範囲に影響する草焼き

方、市街化調整区域では農地や自然環境を守る一定の野焼きは必要。農地の火入れ許可申請の周知に努める。
建設部長▼河川の草焼きは、今年度で一旦取りやめることで、区長会にて通知。草焼きに替わる良い方法等模索し、現場対応したい。



映像



南海トラフ巨大地震の本町の備えは



つづき ゆきお 議員
都築 幸夫

町として独自の力をもってでも備える

昨年1月1日の能登半島地震を教訓とし、本町の南海トラフ巨大地震の備えを問う。

問 本町の上下水道の耐震化を、今後どう進めるのか。

答 上下水道部長▼耐震化の効果の大きい急所施設や重要建物に関する管路の、耐震化率100%を目指す。

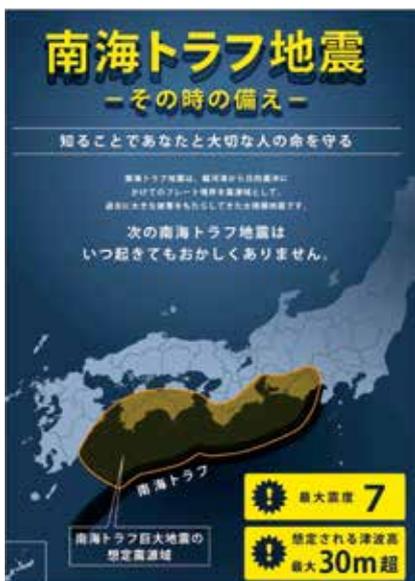
問 南海トラフ巨大地震発生時には、仮設住宅等の災害復旧用地が必要になる。岩堀区にある矢尻池廃池後の土地利用は、

災害時には仮設住宅用地として活用はどうか。

答 建設部長▼災害時を想定した仮設住宅の建設候補地、災害復旧時の敷地活用検討、利用協力等、区へ相談したいと考えている。

問 南海トラフ巨大地震の、本町の備えとしての町長の考えは。

答 町長▼災害弱者、避難所の運営、食料備蓄、水やトイレの管理、建物の耐震化、安否確認等、他者の助けを待つのではなく、町として独自の力をもってしても備える。





丸山 千代子 議員

新事業で財政破綻する事態が危惧される



映像

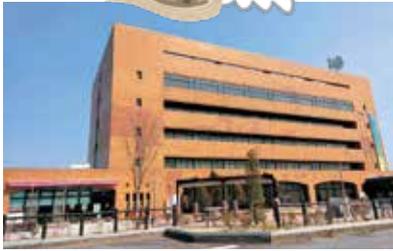
適正な財政運営に努める



問 予算編成に当たり、歳入と歳出の乖離が23・5億円あり、ふるさと寄附金の落ち込みも財源不足に拍車をかけている。財政調整基金11億円強を繰り入れ、さらに各課一律10%カットしたにもかかわらず財政が破綻する事態が危惧されている。一律カットした事業はなにか。

答 企画部長▼財政の見通しが立たず、道路、学校、公共施設の修繕や改修工事などが5・9億円を削減した。

問 町長は種を撒く時だと、新しい事業



財政破綻が危惧される

答 企画部長▼大変厳しい状況だが、適正な財政運営に努める。

問 経常収支比率が高くなっている。計画を見直し、財政計画、事業計画を立てるべきだ。

答 企画部長▼大変厳しい状況だが、適正な財政運営に努める。

問 町長▼18億4200万円相当を投資したが成果に繋がっていない。高度な緊張感を持った財政運営に当たらないといけないという認識でいる。

に取り組み芽を出したとたん、財源不足に陥ったのではないかと。町長▼18億4200万円相当を投資したが成果に繋がっていない。高度な緊張感を持った財政運営に当たらないといけないという認識でいる。

香害の周知や啓発方法は



藤本 和美 議員



映像

ホームページや学校の会議などで周知



香害で頭痛、吐き気、咳、めまい等の健康被害を発症する人がいる。マイクロナプセルは落とすのが困難。

問 学校エプロン洗濯時に香害にあうという声がある。家庭で準備したエプロンを使用できるか。

答 教育部長▼豊坂小の深溝小は入学時に選択できる。学校エプロンを使用したくないときは相談し、持参可能。

問 ひとりだけ違うエプロンを使うこと

を気にする子もいる。全学校で自由選択にできないか。

問 香害の周知や啓発方法は。

答 学校の養護や給食の会議で周知。健康保健担当参事ホームページで周知。

牛乳が体質に合わないこともへの対応は

牛乳分の給食費減額とデザート代替制度



総務教育委員会

管内視察
1月14日

須美前山工業団地造成工事状況 と防災対策の確認

須美前山工業団地

企業庁開発による、工業団地造成工事が完成に近づいている。誘致企業も近々公表予定で、当地域の活性化が期待される。



防災対策の確認

①安全テラスセンター24 各地区の防災力向上を図るため、テラスセンター職員が、相談や講話などの活動をしている。



防災相談は安全テラスセンターへ

②豊坂小に設置されたマンホールトイレ

町内の小学校は基幹避難所である。子どもも安心して使えるように、補助便座も完備している。



補助便座もあるマンホールトイレ



③JR避難者用防災倉庫

幸田駅西駐輪場2階に、帰宅困難者用防災倉庫が完成し、幸田町3駅全てに設置された。



幸田駅西の防災倉庫内

深溝小学校増築校舎

生徒数増加と35人学級導入により、3階建ての校舎が増築された。無垢の木を使用した図書室は、自然の温かみを感じさせられる。



無垢の木で造られた図書館

他、ものづくり支援センターを視察。

協議会 2月12日

みんなが喜ぶ 緑地運動公園構想を協議

令和8年度完成予定の菱池遊水地内、緑地運動公園の具体的整備構想を協議した。

問 堤防が出来ることで例年と風の流れが変わるが風揚げ会場はどうするのか。

答 多目的グラウンドでの実施を検討したい。風保存会などと協議していく。

問 整備予定のテニスコートは要望が強くある。しっかりと利用者への声を反映を。

答 各種団体などの話を聞きながら考えていく。

(その他11項目を協議)



コウノトリが飛ぶ菱池遊水地と緑地運動公園 (イメージ図)

福祉産業建設委員会

協議会
2月10日

保育所等および放課後児童クラブ は全員受け入れ可能



楽しく交流する園児

●令和7年度の受け入れ状況

・保育所

入所児童数884人、入所率67・2%だが、53・0〜84・2%と園で差がある。昨年から30人減。

・認定こども園・地域型保育園事業所

入所児童数343人、入所率69・4%、昨年より59人減。

問 希望しても兄弟入所できない状況は、

答 8世帯16人。町立池、鷺田、幸田など人気の園では、下の子が違う園になってしまう。

・放課後児童クラブ

申込児童数1043人、全員受け入れ可能。通年は790人、昨年より46人減。長期のみは253人、昨年より7人減。中央小と幸田小の残る4つを民間委託する。土曜日と祝日の運営は昨年度同様を実施する。

問 民間委託で利用者は預けやすくなるか。

答 受け入れ人数などの変化はないが、預けやすくなる。

問 利用日数が少ない場合の料金改定の考えは。

答 改定は考えていない。他市町を研究したい。児童クラブを子どもの居場所としても考えなければならぬ。
(その他7項目を協議)

第7次総合計画特別委員会

協議会
2月14日

第7次幸田町総合計画 住民意見を取り入れ策定へ



地域住民によるワークショップで活発に議論される

基本構想(案)

・まちづくりの理念
人と自然と産業の調和

・まちづくりの将来像
もっと輝く幸田を、みんなで♪

「未来につながる緑住文化都市」

令和17年目標人口を、43000人とする方針が示される。

問 様々な年代でワークショップを行うとしているが10年後をしっかりと明記すべき。

答 地区別計画に土地利用構想を盛り込む。

問 重点分野の分けは良いが、具体的にどう進めるか。人口の維持には、子育て環境の良い町であることをしっかりと明記する必要があると思うが。

答 今後の人口維持のため、子育て施策、企業誘致など、人口の維持に向けた考えを計画に入れていく。

DX推進特別委員会

協議会
2月13日

町民の暮らしのための デジタル化を



●公式LINEの導入
(左写真参照)

●在宅、庁外からの遠隔相談の実施
●公式ホームページの更新、取り組みの継続

●町民の暮らしのためのDX

DX推進方針に基づく取り組み状況が報告された。
その中ですでに実施している項目の、主なものを取り上げる。



●カメラによるアンダーパスの自動ゲート設置
(左写真参照)



●保育園運営のデジタル化・効率化
●図書館運営のデジタル化・効率化推進

●地域の問題解決と経済活性化のためのDX



システムでより利用しやすく



(その他23項目を協議)

●自治体情報システム
の標準化・共通化への移行
(令和8年1月末)
●議会のペーパーレス化(令和7年度中に本会議でタブレットを利用予定)
●議会では、2月の協議会よりタブレットの利用が開始された。
(下記写真参照)

●持続可能な行政運営のためのDX



今後の予定(主なもの)

●国の補助事業を活用したスマート窓口導入
●書かせない窓口及び事前申請システム導入などを進める。

あの一般質問は どうなったの？

その後
追跡



その後
令和7年2月23日に、町民会館さくらホールにて、歴史学者、磯田道史先生を招き、『幸田町ゆかりの『三河武士』に思う』の題目で、講演会が開催された。

答 文化振興協会と相談し、広いホールを活用してできないか考えている。

問 『どうする家康と幸田町ゆかりの三河武士』等の題目で、講演会をやったらどうか。

『どうする家康』効果の活用は

●令和5年3月議会
都築 幸夫 議員



堤防舗装された幸田駅西の広田川

答 菱池遊水地完成を念頭に、自転車ネットワーク整備に取り組む。

問 健康づくりのために、広田川、舟山川の河川堤防を利用した、健康の道自転車道の設置を。

河川堤防を健康の道自転車道に

●令和4年9月議会
都築 幸夫 議員

その後
広田川は、令和6年6月に幸田駅西約400mが堤防舗装された。舟山川は、令和5年3月と令和7年3月に堤防舗装された。
以上より、安全に自転車利用ができ、健康づくりに寄与する整備がされた。

その後



その後
令和7年1月から、難聴高齢者を対象に補聴器購入助成が始まった。希望者は、福祉課介護保険グループへ相談を。

答 岡崎市を参考に、準備していきたい。(令和6年9月)

答 補聴器の助成事業は検討している。(令和5年12月)

問 加齢性難聴者の補聴器購入助成の考えは。

加齢性難聴の補聴器購入助成を

●令和5年12月議会
丸山千代子 議員
●令和6年9月議会
野坂 純子 議員



その後
産後ケア事業は、令和5年4月から訪問型も利用可能となった。利用前に保健センターに相談が必要。
電子申請が導入され、利用者負担が軽減された。

答 産後ケア事業は、令和5年4月から訪問型も利用可能となった。利用前に保健センターに相談が必要。

問 訪問、短時間ケアへ事業拡大を。

産後ケア事業に訪問と短時間利用の拡大を

●令和4年9月議会
岩本 知帆 議員

わたしの
しょう来の夢

荻谷小学校 6年
みずの
水野 みちるさん



わたしは、絵をかくことや、何かを作ることが大好きです。しょう来は、芸術関係の仕事につきたいと思っており、特に絵をかく仕事をしてみたいです。わたしは、自然や生き物、自分の身近にあるものなどをよくえがいています。幸田町は、大好きな自然がたくさんある、とてもいい町です。幸田町には、かいてみたいモチーフがいっぱいあります。例えば、特産の筆がき。秋になると、畑に多くの筆がきがなっていて、夕焼けの空とともに美しい風景が広がっています。いつか筆がき畑をえがいて、幸田町に住んでいる人たちに見てもらいたいです。



幸田の夏の風物詩
彦左まつり

幸田中学校 3年
ないとう たいが
内藤 大凱さん



僕は毎年夏に行われる彦左まつりを楽しみにしています。町全体が一つになって盛り上がる、あの雰囲気大好きです。去年は駅前商店街と中央公園で行われ、たくさんの屋台が出店していました。中央公園では、ランタンを飛ばすイベントが行われ、参加したことはよい思い出になっています。彦左まつりは幅広い世代が楽しめる素晴らしいイベントです。これからも幸田町が盛り上がるためにも彦左まつりを開催し続けていけることを望みます。参加した人みんなが、気持ちよく、楽しくなる祭りを続けてほしいです。そして僕も将来、この祭りにかかわり、貢献していきたいと考えています。



まきの つぎお
挿絵：牧野次男さん（荻谷）

議会広報特別委員会

委員長 田境 毅
副委員長 廣野 房男
委員 都築 幸夫 岩本 知帆 長谷川 進
野坂 純子 吉本 智明 藤本 和美

幸田町議会だより No.196 2025.4.25発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 藤江 徹
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ http://www.town.kota.lg.jp/

議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

【6月定例会の予定】

6月 4日（水）開会、議案の説明
6日（金）一般質問
9日（月）一般質問
11日（水）議案の質疑
17日（火）福祉産業建設委員会
18日（水）総務教育委員会
23日（月）議会運営委員会
25日（水）討論、採決、閉会

日程は変更される可能性があります。議案、一般質問、質疑については、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151（直通）